

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	神経線維腫症 1 型における神経線維腫の出血傾向をもたらす組織学的特徴の解明	
1. 研究の目的と方法	神経線維腫症 1 型（NF1）は、生まれつきの遺伝子の変化により、神経線維腫と呼ばれる腫瘍が体のさまざまな場所に生じ、見た目の問題や痛み、かゆみ、日常生活の不便さなどを引き起こすことがあります。そのため、治療の一環として腫瘍を切除する手術が行われます。しかし、これらの腫瘍を切除する手術では、一般的な手術に比べて出血が多くなり、まれに命にかかわるほどの出血を起こすこともあります。 最近の研究で、血液検査の結果（特に APTT という指標）と腫瘍の量や性質に関連がある可能性が明らかになってきました。また、神経線維腫には「肥満細胞」という特殊な細胞が多く含まれており、そこから放出される「ヘパリン」という物質が、出血しやすさに関係している可能性があります。 この研究では、NF1 患者さんの腫瘍に含まれる肥満細胞やヘパリンの量と、血液検査の値との関係を調べ、NF1 患者さんの手術をより安全に行うための知見を得ることを目的としています。 この研究では、診断や治療のために手術で摘出され、病理検査に使用された後に残った腫瘍組織を使用します。 対象となるのは、NF1 患者さんの神経線維腫と、NF1 ではない患者さんの良性腫瘍です。これらの組織に対して、肥満細胞やヘパリンの発現を評価するために、免疫染色を行います。 さらに、カルテから NF1 の病気の重症度や手術前の血液検査値などの診療情報を収集し、病理所見との関係を解析します。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 7 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	皮膚良性腫瘍の患者さんで、2015 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間に附属病院皮膚良性腫瘍の手術を受けた 18 歳以上の方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術の時に切除した組織
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除し、診断のために使用された後に残った組織の一部をいただきます。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、血液検査、NF1 の重症度
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	

	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座
		氏名	延山嘉眞
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座 富永美菜子	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 8 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座 研究責任者：教授 延山 嘉眞（のべやま よしまさ） 窓口担当者：今井 聡子（いまい さとこ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3341） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。